

ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社
(以下「ディズニー」という)
第六回ディズニー・チャンネル放送番組審議会
議事録

開催日時 : 2006年4月21日(金) 17:30~19:00
開催場所 : 東京都港区麻布台 2-4-5
ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社
ウォルト・ディズニー・テレビジョン・インターナ
ショナル ジャパン
スタジオ・ディズニー会議室

在任審議委員数 : 7
出席審議委員数 : 7
出席審議委員氏名 : 加藤 諦三(議長)
木下 美子
小島 朋之
中川 眞也
前田 耕作
柳生 純麿
湯川 れい子

その他、ディズニ : エディー・カックス
ーからの出席者 (バイス・プレジデント/編成部)
待鳥 雅之
(コンプライアンス・スーパーバイザー/編成部)

議案

- 1) ディズニー・チャンネル及びトゥーン・ディズニーの
番組編成・改編について
- 2) ディズニー・チャンネル及びトゥーン・ディズニー放送番組について
(下記の番組については、本会議に先立ち、各審議委員にVHSテープを送付
した。)
「ミッキーマウス・クラブハウス」
「D-jam」
「アメリカン・ドラゴン」
「ゲット・エド！」

審議の概要

- 1) ディズニー・チャンネル及びトゥーン・ディズニー番組編成について
エディー・カックスより、ディズニー・チャンネル及びトゥーン・ディズニーの

番組編成・改編について説明がされ、下記のとおり意見交換が行われた。

(以下●印 審議委員からの意見及び質問、○印 ディズニーからの出席者の回答)

- 今回の番組編成の改編の大きな目的としては、ディズニー・チャンネルとトゥーン・ディズニーで共有されている番組を減らすことが挙げられる。
- ジェティックスの時間枠が大幅に拡大される。
- また、リサーチの結果に基づき、プレイハウス・ディズニーのゾーン全体についても見直すこととなった。「ミッキーマウス・クラブハウス」の放送開始もその一環である。
- 「プレイハウス・ディズニー」のブロック全体としての評価はとても高いが、「週末に見られない」などの意見があり、視聴者からの要望に応えるため、ディズニー・チャンネルの週末朝にこのゾーンを設ける。
- 契約者は現在 300 万世帯を突破し、加入者数は順調に伸びている。
- 編成が変わることによって、「ハイスクール・ミュージカル」はどう入ってくるのか？
- この作品は、テレビのみでの公開にもかかわらず米国でヒットした。しかも放送するたびに高視聴率を記録する。音楽 CD もプラチナセールスに到達した。
- 日本では 8 月 19 日にプレミア放送を予定。8 月を音楽月間と称し、他の音楽番組(例：D-jam)などティーザー的に使用する予定。
- 吹き替えのキャスティングや歌の扱い(吹き替え VS 字幕などについて、楽曲の Tie-in の可能性等について)、現在社内で協議中。
- 音楽 CD が 6 週間トップ。日本でも既にリリースされていたのかと思っていたが。「ミッキーマウス・クラブ」以来のヒットになるのでは？大々的に出されるべき。
- アメリカではニュースでも話題となったが、なぜ今アメリカでこの映画がヒットしたのか？ アメリカが純粋なものを求め始めたのだろうか？
- ヒップホップ系の音楽・ファッション等との関連性も、サッカーなどとは違ってバスケットボールのほうが強い。

2) ディズニー・チャンネル及びトゥーン・ディズニー放送番組について

ディズニー・チャンネル放送番組について各委員より意見交換が行われた。

(以下●印 審議委員からの意見及び質問、○印 ディズニーからの出席者の回答)

『D-jam』について：

- この作品は、身近にあるものを使って楽器として演奏して音楽を楽しもうという趣旨の番組。毎回、色々なアーティストや紅白出場経験者などの有名パフォーマーの方をお招きしてディズニーの代表的な歌を一曲披露してもらおう。
- 身近にあるものを使って音を出す、というところは冒頭では見られるが、それを曲の最後まで使っていないようだ。導入部としては「あり」なのであろうが「その後は？」という感が残る。
- 単独だったらこう、セッションだったらこう、ということがもう少し分かれば面白い。
- ゲストを理解できるのは高校生以上？ 子供にさらに興味を持たせて、さらに親近感を持たせるためには、子供が映像に入るとさらに良いだろうし、いとも明確になるのでは？
- 最近ではディズニーの代表的な楽曲が教材として学校で利用され始めてきていることで、小学校レベルの子供たちがディズニーのクラシック曲への注目度があがってきている。昨今の英語教育との絡ませかたなど、更に子供たちを含めた形での番組として作り方もあるのでは？
- 全国の小中学校からディズニー楽曲を歌ったり演奏したビデオなどで応募してもらい、採用者をディズニーランドへ招待するなどすると更に盛り上がるのでは？
- 9歳以上を対象とすると、もう少し強烈な印象があってもいいのでは？きれいだけど、印象は薄いかも？
- 競争することによって、目的をもってゴールに到達する。というラインを示したほうが、面白味が増すのでは？
(ちなみに、昨夏のディズパラスペシャルのダンス大会での「全員1位」という結果にはがっかりした。これでは現在の学校教育とまったく同じだ、という印象があった)。親近感を子供たちに持たせるためには、ランク付けはあったほうが良いと思う。

『アメリカン・ドラゴン』について：

- 中国系アメリカ人の少年がドラゴンになって、マンハッタンに住む悪魔たちと戦う。シリーズを通して、少年ジェイクは徐々に自分の使命を自覚するようになりヒーローとして成長する。その一方で、自分の宿敵に恋をしてしまう、というもの。
- ドラゴンが悪役から正義の味方になったのは良いのでは？ 今までのあ

らゆる作品で、竜は悪として扱われてきたが、やっといい役として出てきてくれたという感がある。

- ドラゴン自体の印象が変わってきた？
- ヨーロッパではヒット作品。国ごとによって反応が異なる。

『ミッキーマウス・クラブハウス』について：

- 今回の「プレイハウス・ディズニー」目玉作品？
- 最新の3DCGアニメーションで表現されたミッキーと仲間たちが登場。テレビの前の子供たちに直接語りかける作りになっている。困ったときにはミッキーと仲間たちが登場してどのように解決するのかを一緒に考えて行動してくれる。ともに学んで楽しもう、というコンセプトの作品。

『ゲット・エド!』について：

- どぎつい色だが、とても印象的。今回視聴した作品の中で一番面白い。
- 見た目どおりそのまま楽しめる。
- 宅配業者とのコラボレーションもありだろうか？

以上をもって本会議は、議案の審議を終了したので19:00に閉会した。

上記の議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、本議事録を作成する。